

○事業所名	studio koti (スタジオ コティ)		
○保護者評価実施期間	2024年11月26日		～ 2024年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48人	(回答者数) 39人
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様一人ひとりに合わせた支援計画を作成し、実施していること。療育内容を工夫し楽しく活動に参加できるように支援を実施していること。	療育内容にマンネリ化が起こらないよう常に新しいことを取り入れている。またスタッフ間で定期的にミーティングを行い、意見交換をし情報共有を徹底している。	事業所の中だけでなく、見識を広げるため外部との交流や情報を取得するなど新しいことを取り入れるための努力を日々意識し発展に繋げていく。現状の療育に満足せず常にブラッシュアップしていくよう事業所全体として心がけていく。
2	安心感を持って通所いただけていること。	安心安全に通所いただけるよう日々お子様の性格や状況を把握することに努めるとともに、各種マニュアルをスタッフ全員が研修を基に訓練している。	非常災害時も含めて、より一層研鑽と精進をし、いかなる状況も想定した取り組みを継続して行っていく。
3	スケジュールに沿った集団生活を無理のない範囲で行っていること。個別課題に取り組む時間、集団で課題に取り組む時間、自由時間と、メリハリある生活をしていること。	好きなことをしているだけの生活ではなく、ルールの中で有意義に過ごすことを学べるようスケジュールを確認している。また、集中できる時間を考えてメリハリある時間設定、内容を心がけている。	今秋よりeスポーツを導入し、集団療育に取り入れている。また、自由時間にスタッフ常駐の元、短時間、複数人でゲームを楽しむことを学んでいる。今後もお子様の様子を見つつ、より良い時間を過ごしてもらえるようスタッフ間で適宜話し合いをしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースが狭いこと。	お子様も多くご利用されており、スタッフも1日あたり6名を基準に配置していることから事業所内にいる最大人数と事業所の面積を考えると手狭に感じてしまう。	活動する内容に応じて事業所内を区切ったり、なるべく余計なものは置かず少しでも広く使えるよう工夫はしている。しかしながらやれることに限度があるため、中にいる人数に合わせてスケジュールを改善するなどやれることを日々考え実行していく。
2	保護者評価表でもご指摘いただきました、放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他のこどもと活動する機会が少なかったこと。	地域で行われているイベントの情報収集を積極的に行っていなかったこと、事業所内の活動に重きをおき過ぎていたことで視野が狭くっていた。	地域で行われているイベントなど、もっと意識を向け把握していくようにする。参加が可能かどうかを検討し、可能と判断した場合は積極的に療育の一環として取り組んでいく。
3	保護者会の開催など保護者同士の交流する場を設けなかったこと。	保護者会については参加をご希望される保護者様が少なく事業所で勝手に判断していた。具体的な開催に向けたアンケートを実施するなど出来ることはあった。	開催するしないの判断基準をもっと具体化し、保護者様の意見を判明できる仕組みにしていく。